聖之部

誹諧鑑

乙

へ5
1928
6

門へ 5
1928
6

一巣菴

牧雨澤

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一石房

洪珠來

月花の白雪
[illegible]
[illegible]
[illegible]

五斗菴

[illegible]

上田米叔

[illegible]

桃花樓

飯田帶河

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

百輪菴

大野敬多

[illegible]

在中菴

塙宣我

唐[illegible]の[illegible]を学て[illegible]雨[illegible]
口上[illegible]仮ひと西瓜の[illegible]を敬
医ハ仁術と[illegible]の又[illegible]
[illegible]の[illegible]を[illegible]ハ[illegible]
一用の[illegible]の[illegible]人細工の刀掛
ちう場より来[illegible]市の買物
女房より[illegible]市の更衣
吉原ハ男[illegible]の更衣
[illegible]小判より[illegible]
[illegible]森の[illegible]
下[illegible]
[illegible]の[illegible]
百[illegible]

源氏　狩衣
花中紙
伊勢物語
つゝ
[illegible]の傳
引[illegible]
[illegible]
[illegible]

海苔の表行つ網へ[illegible]
るハ[illegible]
医者[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

甫富菴

[illegible]

東夷志

[illegible]

珠翠菴

弥弱なる
事一大坂の花名
買多
白中一とい言
ふる仕る
女房　書
る　須塚
売　参る
類波　四橋
住吉　八軒家
什表の大坂

東　阿澤

お買へハ京をうつる末芳の奥
橋ふるをはひすか家所を
法華　理と望ふ大丈の例くて
大紙を二日考ふ有る年の書
元芳ひの他屋のたまもよく笑へ
須塚のつきなき和みるむけて
吉解川流るるも芹　苔
薬仲の宮　徒本の脊戸
女ふ遠くて過き泊屋の俗
赤る の点きふむはあ
御ふを意も厠の居ぬけて
雲年一田橋のをみちの
首尾よくて下恭て庵る浮願
万寿と雲を唱ふる浮願山

名所八ちふ
ふ　古家場
御屋敷の
ふ　の花名を
知るかし　俗と
かけて仕ふ
住吉　高氏
橋深花名
ふ多名
ふ　列形
ふ　花
ふ　の花名
ふ　ふ
ふ　ふ中ふ
ふ　ふ

地名とり〳〵に
ちらさぬ名を
考へて

立葉齋

一仲春の末の
万よし
橋　四条川
柳　義
売　雪車
地名を入て
ちらさぬ名を
考へて
句作あり
柳うえもの
ものあるより
あり

東萬英

引抜き高車は桜の埋もれて
抜橋を
抜橋の高の
抜橋の例
抜機の灯の
抜高の
抜高の
抜高

[illegible]

[illegible]

隱里軒

[illegible]

神祇 [illegible]

[illegible]

今井立鼠

[illegible]

俤尼松
桜　名所
高とさとりする
白ちよし
月花の白よ
愛ずるへ
うちうち主

天敬日蔵八幡を祭られて
[illegible]と押見交る猫の立不二
[illegible]の間うう鳴る市場見
伊勢物語と題く母さう江糸
[illegible]を掛ぬ如唐の書を
桜千鳥〳〵鳴うぬ雲仙
[illegible]ちを人を見惜くうる
牡丹咲うやく母のさう
玉よ市さう見んうち沂
愛の移うひの先へうに
〳〵ろへ逃るる乙女の唄
母の先逃る桜桜さう旅
長生の角千〳〵ぬ百姓
貴殿て清〳〵拾つ年
さうろと白〳〵さんと墨除
母うまし矢巻の文れ

弾弱なるへ
おうしこの白
吏一うう
桜　船
雪　尼
淀　貸見
湖上の糸
糸のう糸糸
ううう
糸加うう
糸花名
主へて名所

立賀

堂を愛する松を日午の玉柱
きけんうう〳〵ハ桜〳〵る堂舟
彼岸桜のをうさ形よ墨城うて
ろのうあよ夜絞を結ぬ印
似菩薩の陽る日うう尾よ元陽て
こうをんを松よ母の彩ぬと
代るとと師して世うう大餘
彼岸桜とへうとられしも青うう
花ちうて玉ろう女ハ鑒要城主
赦うれ〳〵伊布ち江戸の文多松
入王のまうよ菴主ハ賜まくら
愛るかと母の黄うするみの主角
常〳〵代を作る陰の筆桜
多松よ多ち冥居の涅槃絵

蕉雨菴

弱弱敷るハ
ものもつよき方
勿よきくあり
諸葛巾　東坡巾
俳家　みなもの
京ハ不　旅の勢雖
あるの作ハ
紙空忌
芭根早書ス紙空
忌ニ十月廿之日
芭蕉ハ　仲夏
ハ二月よりの物より
さるあるこ月の
あるハ中ハさるるハ

淺茅鷄冠

舟ニ乗ハ毎三年ものとなれて
頃よの命めてこ一万里
岩ハ作ハ去年の秋ハ律義西
屋敷の約束ハ作ハ蔓附
給り笠ハ正月の蓋あるあるの日
城廻しあるまてあるあ至
周仏寺庶の元祖の為中ハ
坂ハとみくこ城ハ月夜の伽ハて
諸葛巾かるる程ハ笠蓋ハ
通行ハ居士衣の多い紙空忌
あるる人酔ハ多ハ而へ柚の多
中の町人ハ極毛日ハ映
ほくまた為ハ為ハ雨作ハ
今昔あ安ハたき中ハ

[illegible]

[illegible]

玉蓮舎

[illegible]

島祇道

日帰りにて[illegible]
[illegible]
[illegible]

摩訶窓

林琵山

三人ゝ居る切屋の門ばかり
茶釜一本て家のまゝき
拾月の家の岩の二つ三つ有物
婦のあまて 越えて
小川ゝ たゝくまゝ 家の屋
惚ゝ男のいつも門 物
男の上ゝ似ゝ方をるの上
ゝ人の中ゝ医者の元つまり
三四の上ゝあゝ角大明
子を抱ゝ方のオニ
空ゝれ 男ゝ義まれ
年ゝ なゝれ ゝいゝ ゝ貧
貧ゝ ゝ家 女 を拾ひ
呼ゝ ぬゝ を抱ゝ 毛 の 体
ゝ ゝ係 ゝ ゝ ゝ
抱 ゝ ゝ ゝ ゝ 薄

十二 蠅窓

弱き方なるハ
女ゝ ゝ
ゝ 家 ゝ
似ゝ
ゝ 方 ゝ
似ゝ
ゝ ゝ ゝ
ゝ ゝ ゝ
男の男の ゝ
女ゝ ゝ
似ゝ
ゝ

蝶はとゝ ゝ ゝ世 ゝ
男ま ゝ ゝ の ゝ 山 鳥
抱ゝ ゝ の 屋 元 の 箱 ゝ 屋 の 屋
抱ゝ ゝ ゝ 山 ゝ ゝ 鳥 ゝ 代 官
ゝ ゝ の ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ 屋
載 ゝ 桜 ゝ ゝ の ゝ ゝ
ゝ の ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
ゝ 男 ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
似ゝ 正 の ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
ゝ ゝ の 牛 の 角 ゝ 青 揚
ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ

葛菴

滕李門

蛙のきほひさハ〳〵後〳〵水
松風をそなきハの動きて
猶さぬと同の実ちりき音の月
小波ふるく欠ぬ月ふ毎月待
呵〳〵や雲を空堺の果ゆて
ほしくも母の塔断痛く入
傷〳〵へ魚の舟中ふ乙女
尾久の年貢之臣者の上京
岸見分の舟ふ乙ちん
陰ふへ〳〵る通耶の襟
くく〳〵会る松の針紙
大丈〳〵邪見音ふ来ふ
笑止や日和下戸の居陰

夢佛菴

一作ニ云ク白ク高ノ白ク麻ノ如ク

近き地名母

鮮 嫁 書

蕎 妾 尼

俗 子

生 新

世一白ニ云ク

一ク云ク

堀國香

蕎麦ヲ吹風ハ水ヲ吹風ヲ何ト

世ニ命名風ヲ袖ニ受ル秋ヲ

麻ニ云ク云ヘテ麻ヲ結ル嫁ノ子ヲ

今結ル女ヲ麻ニ云ク麻ヲ

杉ヲ植キ云ク杉ヲ

清水車ハ五ツヤツヲ云ヒ

ヲ云ク云ク面ヲ俳ク云ク里開

ヲ云ク云ヘテ苦ク云ク川筋ノ色ヲ

定ル云ク云ヘテ山ヲ

杉ヲ植ル大俗ニ云ヘテ

西ヘ入所ヲ例キ俳昊居

東ニ衣梶ノ云ク扇ヲ

吉原ノ社受寿ヲ高ヲ中

神ヲ祭ル祭ヲ

故園舍

加藤百壽

[illegible]

[illegible]

[illegible]

井下菴

陸奥の国ゆかしよりつき方なり

新蔵　信
流水　光
滝　春の人

お菜
春の風の
信谷の句

雲母八寄しき所　見ずとも不
仙えさめつ
きえ出し也

瀬上双鳧

二日も白き吸物の礼帰
名ゆかき里よりみと添ひ医者
お猿り傳りと光ひ
欠の膳へ返事見ひ
本そるとと煙草
仲所の乃結屋く神仏の本場
遠別旅を見返へる　義
太て桑ちくる案の者
氷をつふ猫目ゆ
猿ゆ
信故と口の会ひ　半賣
名ゆ
鼎
剣刺る

[illegible]

[illegible]

[illegible]

佛ゐ[illegible]ある寺の[illegible]
糸[illegible]のまかり[illegible]
片[illegible]の[illegible]を八坂の[illegible]
[illegible]いきのうるおの[illegible]
元日のまゐハ寺のかたうう
[illegible]灯へうねる波上のうさられ
[illegible]る悦よ室の[illegible]
焼印の火と地[illegible]幸の必[illegible]
壬生の[illegible]
梵[illegible]二人[illegible]
[illegible]足ふ時も[illegible]
[illegible]入を[illegible]と[illegible]の[illegible]
棒の[illegible]の荒き[illegible]
[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の日[illegible]大海日

茂園

[illegible]
京地名[illegible]
[illegible]の地[illegible]
一所[illegible]
[illegible]の[illegible]中[illegible]
[illegible]
[illegible]道 [illegible]
[illegible] 吉原

扛春禪

[illegible]と浪の挑灯を[illegible]
[illegible]債と[illegible]
蝦蟇の[illegible]
仲人[illegible]
[illegible]宰十八[illegible]
日[illegible]を[illegible]の内人数
[illegible]の穴[illegible]
[illegible]造[illegible]
[illegible]の[illegible]蛙
[illegible]同[illegible]
[illegible]の大[illegible]の名人
[illegible]の 細工[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]山吉の 猫

自在菴

一所中[illegible]
源氏 伊勢物語
極楽
色在地獄
[illegible]
[illegible]
物語
[illegible]
紙法 田舎の
[illegible]

仲千頂

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三喬菴

[illegible]

觀澤來

[illegible]

鴻月樓

衆灌河

所之の所を
ゆくを見て
こゝろ映点の
意味かゝるか
かゝるか

あたゝう世帯のえつる私の内
瀧上まゝ送る仲居の新籠
元勝の和舟の伝の地をかくて
結納籠ゝ送る舟
幣の作者る船頭の面尾
神輿はひも寄りの姫
仲居を連て地主の家橋
を糸のまゝ付て橋を渡
橋ゝ付て橋ゝ付て新橋を
吉原迄ゝ来る
高舟絵巻の寄めき〳〵紐
面の鞠場ゝ羽ゝをつく姫
狂ゝ勝ゝ引もさゝら絵
著樊ゝきゝさゝ屋のおきる
宴のゝのゝ見を詠られて
宮の和舟の細き灯明

自得菴

弥勒寺
京大坂の地名
ちまちまと
しるこゝろ
火をとるひ
ゆと仏之点
ゆ
四本のあるは
きゝゝちのの
ちまゝ仏ゝ
ゆゝゝゝゝゝ
かゝゝゝゝ

石川九鳥

草迄代の紗ゝ帥を高麗ゝて
鶯蕾蕾の作ゝ附ゝ事
ゆゝ
浪ゝ
玄冥ゝ
二湯
沙法の
西学
如意
叶世
所ゝ
徒利
菊塚
毒蛇

有無菴

強弱あるべし
黴色　梓
故実　紀念
死文字　清所
妙物　火事
浸場　切腹
計類いろ〳〵
なとゝいへとも云
のほう多くあり
てハ長よりして
一新人新とふ
すゆまし

馬場存義

田仲取本の色彩の目を見し
桐一家まのもの色の目を開き
火吹作ましなるぬ高折
千部の頃ハ陽るまの顔ら
あアの嵐と此を強口
人のよ〳〵冥加此ハ浦やぬ
さてこまのまを浦ましまよ森彩ぬ
黄字半とうらるハ絵ら
備ものうちいつち雛のあ之之
桃下ましるるを三年まるるる
おさきう上〳〵ちる拾ら見
産宮くを明ういう留
色し赤絵の宮る似る

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

獅子眠

谷口鶏口

秋の白露
麻の露
虫の声
浪　寄舟
消えとうく
さよふて

下まて雑子ふと石の清遊先
つと入る色の秋ちかし立返し
弁の多る陽光高く秋の雲
来合て雲を詠せし　古接医
り師と泊て貴歌く寺
炉し細くも都の松風
天児元老く　女を抱
さひしく侍る秋金の雨
学者の燈一命は[illegible]
梦を覚て新秋の多車
発を覚して二交の書状
[illegible]の沈る出る秋天へて
夜の[illegible]恨ハ[illegible]女人堂
に[illegible]て八郎ハ名[illegible]
頃焔[illegible]繁を結ふ馬
今さらる任の名[illegible]

滾月菴

一作白表[illegible]
[illegible]白[illegible]
つ[illegible]
陣中
軍の[illegible]
古戦場の名
高名不
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

三上祇丞

[illegible]君八伯陵の佛の仲人[illegible]
[illegible]生八行古[illegible]九十九[illegible]
[illegible]建の面戸の書古[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]禁[illegible]
[illegible]諸[illegible]根府川の[illegible]
[illegible]
[illegible]利[illegible]
荒[illegible]庵を[illegible]山[illegible]
雪を[illegible]
[illegible]書の[illegible]
客[illegible]
[illegible]
[illegible]

島の子
手討　左近
狐　和睦
教兎狀　都
彩の白よし
とゝ一白とみ
るく
行ゑ

京の地名重く
阪田　赤坂
一仲　伝物
田松　鍋栗
梅　桜
蓮
雲ぶかもかし
あるゝ
京地ああす
の所よし

藤中温克

一作歌

高あしたの
笑さ白仏を
ちかう

同者ゝ作者の和歌
地獄の佛を踊きると合せ
一口の氣アの酒をかけ
產あをまつ朝ノの娘
寺門合天井ゝ屬のあし
ゝくりこれハ長々寿てゆる
かくさんと然る仲居ら年の
迄ゝ者ゝ倒ゝ世の人の
秋事ぬと世話ゝ化の
掘ゝ狂女ゝ
至ゝ今踊ゝ

露哉

殘月ゝ
光をといつる
ゝ之白の
淵ゝ
ゝ
新ゝ
ゝ
ゝ
ゝ

北在轉

家ゝ
親ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
山ゝ
屋ゝ
一ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ

神田菴

一仲陽き方ゆう
歌の句
也情の句
京地名
文雅　地宿
遠刹　俗う魂
拙坊ちよ
居尿　陽陰
頓死
ぜ類よ
附と考へ

木村小知

[illegible]

一仲麻呂の
[illegible]
[illegible]

面よ〳〵きる黄葉の赤根
赤の根のちら〳〵と雁の色
赤の明〳〵沾の寺の梅ちる
月の秋ハ既る眼の什泉の寿
市仙さゝすの千枝 祐範
毎ハ〳〵蒲萄伐らせる
隙絶をゆめらず 勝技
旁時〳〵慶耶山おむ釜〳〵舟
迫きれ幸よ畑ハ薗せと
何人ゐ点〳〵お書る賊ゥ軒
天井よ縋を入〳〵雷の寺
連多年へ来る 早折
絶い隙絶をとけ 乃番
命ゝめてさき 陵き蛾
天皇方の中〳〵の積多 禪
唐の望天物をあるとき

石壽觀

[illegible]
[illegible]
賈明丘の水
味そよ
奥の地名
地名
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

壽 秀國

[illegible]の秋を雲沙〳〵麻の多
[illegible]きの酒を焼く 唐を焼く
昔代 多面 角 [illegible]
踊多絶ちる 切絶の秋
図西よ 形ちける秋の寺
被を絶ハさくら 明き
明を連〳〵ちらく 右川
類〳〵る秋の萩
唐[illegible]きる[illegible]
萩ゆと葵を 鶴るか 角の長
又を俣麻せゆ〳〵ぬと麻を 絶
葉の頃ハ美をり 地を
角寺の色来を麻て 来る 毎
百米ハ 鶴 [illegible]

[illegible]

大葬原可因

[illegible]

凡夫菴

[illegible]

ちとせ むつの
しきものなり

連莖菴

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

十花亭

六丁一里　拳　歌

[illegible]

木村金洞

[illegible]

[illegible]

竹葉城

一 [illegible]

[illegible]

志村露十

[illegible]

かきくらす
雪の白
てるあの白
ゆきとうみ
仕立て

冥加へてとて田舎ハ女うち
元服の後の集ゆ母の色
法ゆるさるる小神と京のきそをめ
愛一つ出ぬ又ねる冥の数
京ゆ見ぬ所の体宿年一寺
ゆ騒の孫年一拾ゆ
作家の数沢んとゆ流行の
新仕の沼ゆ姓のゆ
男系の名鞭添て
年一ハ小金日傘ハひとし
孝女の門年一拾ゆ弥末
幕自ゆ九立ゆ
云行ゆ姓の
姓の山ゆ開の法上戸
火の名ひ巨燈ゆ話女
天一ゆ美ゆ梅雲

路通庵

弥猫ゆ
ゆ作白ゆ
ゆ仕立て
有美兵の中ゆ
ゆ味ゆ
三白の浮ゆ
ゆ去て
白味ゆ
ゆ云ゆ
ゆ
あとハきく
ゆ

新井理啓

かゆ行ゆ拵ゆ小神ゆ
行ゆ流ゆ細ゆ
拵へ投ゆ
ゆの巻梅ゆ
流ゆ
寝ゆ
ゆ
作ゆ山伏医ゆ
ゆ
ゆの
尺ゆ
ゆ
蓮ゆ

[illegible]

[illegible]

寒玉齋

[illegible]

藤英屋

[illegible]

寒玉斎

星霜菴

熊谷白頭

蓬萊菴

河野美天

矩久齋

本間保牛

一日の初春へまうりの正木賣
正月ゆ日ちかくなりぬ千鳥
不二八芝蘭へぬ四月朝日
傘の目ぬ江戸の清水
長谷寺の紫藤只一て
作者の一ぬ家ゆ灯りうるほう
白鷺と中たる高上り
住吉を度る仲春外写く
神を出しよかつる新居
風ゆ吹るゆ一笹の音
却る列一笹の音
庵まく〻と本屋町へ状

十三里
後舟
あり舟
[illegible]
[illegible]
[illegible]

灯火の十とをかゝはぬ川社
起本の通夜の書ゆかくを
錄ハゆゑと二月の文百寺
男の業ハ新しぬ灸着
ゆるる人古寅方の布ハ去のうて
婦と学千代医者の立源
おかく書中のお節神明けて
来るまを去地の力書書屋所
後ひの独足合せて市油作り
森名の地ハせる京庫屋
本桂のかりてや作家書学して
咲ゆ書ハ[illegible]てる立係の書れる
書柳の今ゆ名の新ゝ世安市
桂の作る赤ハ山の夕作
ゆ月面の市ゆうさる後屋形
書刈ゆ庫裏れられ平林市

伽羅菴

強き方なを
百万長の立体
りゝ
おゝゝと申
元ゝて白中
ゆ拾ゆあり
白作ゆ
ゆとゝいふを
つゝた
立のゆとゝ
おゝゝとけて
白作を一点
をゆるなり

小栗旨原

又の世ハ男と生れ云物れ
子しゝうせは遠ハ化物
故白業平明年人別ゝ
鬼ゆ
立地ハかゝこの上る布面の立
鬱ゆ千ゝと百作ゝ二百作り
日蝕の生れゆゝねと拾ひ
浦人のひろ[illegible]沖船
ゆきゝゝよ人実船の帆を上ゝ
ゝけ先を出ゝゝさる先れ色
白骨と顔しゝゆしゆ
ゆつゝゝ棚ゝ出て性の立
俵使の剣を面るきゆ
出千ゆ行ゆの足ゝゝろ足

[illegible]

初音の出るまで家をとりこめ
惜れの惜を刻くまるる出る
猪の秋をきく形
猪は西風とかゝる山法師
脱海をて空の色いと人
きとるるをあと安の肌て抱く
幸の的る甲斐出の弱の名をえ
眼と一つ拾の間きのこ入口
首掛を折の音ちんこ
荒屋るさよきふきき根来桃
毋とえてるのちゝる弱祭
和睦の使嘆て弱
空さまよ白髪吹うゝ本城刈
宗夜てうい時一本寺
針屋うゝ絡ひゝ糸割岸
新宅の柱よ夜の出る書

太平菴

[illegible]
句を開作
作之
高光の句より
東地元
中[illegible]
伯屋 妖怪
屋 女人堂
代和 紙屋歌
より
[illegible]
[illegible]

大町連馬

[illegible]
屋毛
川舟
東肥
素[illegible]
竹具
[illegible]
[illegible]
[illegible]

太平菴

夜月菴

水野山花

光風園

交　寛美

[illegible]ぬ[illegible]てすむ傾城の文
[illegible]者[illegible]の[illegible]
[illegible]いて畑の小夜
[illegible]の[illegible]押[illegible]
[illegible]流[illegible]縣掛
大名の[illegible]る泥の船
藪八の[illegible]て後風川
[illegible]て[illegible]
日本の[illegible]とおすみ二山
[illegible]尼[illegible]悔む女人堂
さくら[illegible]まいる　西陣
[illegible]の四月[illegible]の[illegible]
[illegible]いて御のこて機
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]て
[illegible]のきしつく紅川
[illegible]